

第47回中国・四国社会就労センター協議会職員研修会

開催要項

1 趣旨

障害者福祉施策は、平成30年度の制度改定に向け「新たな地域生活の展開」、「障害者のニーズに対するよりきめ細やかな対応」、「質の高いサービスを持続的に利用できる環境整備」の3つの項目を基本的な考え方としています。

本研修会では、施設・事業所の職員が支援に従事するにあたり、基本的な問題に着目して「分っているけど、今さら?」「どうすれば?」と思う気持ちを少しでも解決できる研修会にできればと願っています。

2 主催

中国・四国社会就労センター協議会

3 主管

公益社団法人 広島県就労振興センター

(中国・四国社会就労センター協議会職員研修会実行委員会)

4 後援(申請中を含む)

広島県、広島市、社会福祉法人広島県社会福祉協議会

社会福祉法人広島市社会福祉協議会、広島県知的障害者福祉協会

広島県身体障害者施設協議会、広島県精神障害者支援事業所連絡会

5 期間

平成29年9月14日(木)～15日(金)

6 会場

ホテルセンチュリー21 広島

〒732-0824 広島市南区的場町1-1-25

TEL (082) 263-3111 / FAX (082) 263-7601

※会場は駐車スペースが限られておりますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

7 参加対象者

障害福祉サービス事業所の職員等

8 参加経費

参加費 4,000 円 情報交換 6,000 円

宿泊費 別途案内

9 参加申込み、参加費用等の支払方法について

お申込受付は、名鉄観光（株）が代行して行います。別添「申込書」に必要な事項をご記入のうえ、**8月10日（木）**までにお申込み下さい。

- (1) 締切日前であっても募集人数に達した時点で申し込みを締め切りますのでご了承ください。
- (2) 「申込書」にご記入いただいた個人情報につきましては、名鉄観光(株)と事務局において共同利用させていただきます。個人情報は大会運営に必要な範囲内で使用し、参加者の把握、交流に資するため、「申込書」をもとに参加者名簿（都道府県名、施設・事業所名、氏名、役職名等）を作成し、当日参加者に配布いたしますので、ご了承ください。また、大会会場で撮影した写真などは、報告書やホームページ等、法人活動に使用することがありますので、予めご了承ください。
- (3) 参加のお申し込みをされた方には、名鉄観光(株)より参加券・宿泊確認書及び請求書等を開催1週間前までに送付いたしますので、所定期日までに参加経費をお振込みください。なお、参加券は当日必ず会場受付にお持ちください。
- (4) 参加取り消しの場合は、「申込書」に上書き訂正をして、FAXにて名鉄観光サービス（株）広島支店までご連絡ください。ただし、申込締切日以降の参加の取り消しについては、大会後に資料一式をお送りして、参加費のご返金はいたしません。予めご了承ください。参加費の領収証が必要な方につきましては、大会当日、受付にてお申し出ください。

10 プログラム 別添のとおり

11 参加定員 100名

12 参加申込み、宿泊に関する問い合わせ先

名鉄観光サービス株式会社 広島支店（担当 兼田）

〒730-0013 広島市中区八丁堀 5 番 7 号

TEL 082-227-2281 FAX 082-227-8863

13 事務局

広島県就労振興センター 事務局（担当 曾根）

〒732-0816 広島市南区比治山本町 12 番 2 号

TEL 082-252-3100 FAX 082-252-3155

第47回 中国・四国社会就労センター協議会職員研修会プログラム

【9月14日（木）】

時間	内容
12:30~13:00	受付
13:00~13:20	開会式
13:20~14:50	<p>【行政説明】</p> <p>『障害者総合支援法の見直しについて』</p> <p>講師：服部 剛 氏（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 就労支援係 係長）</p>
14:50~15:50	<p>【基調報告・講演】</p> <p>『就労支援施策の動向とセルフ協の対応・現場が元気になる職場環境づくり』</p> <p>講師：松村 浩 氏（全国社会就労センター協議会 副会長）</p>
16:00~17:00	<p>【講演】</p> <p>内容『働くことで人は幸せになれる？』</p> <p>講師：県立広島大学講師 高木 雅之 氏</p>
18:00~	【情報交換会】

【9月15日（金）】

時間	内容
9:00~10:00	<p>【講演】</p> <p>『なかなか運動できない人の「どこでも簡単ストレッチ」』</p> <p>講師：大滝 さやか 氏（講演会講師・ヨガ講師・ 美容と健康アドバイザー・司会業）</p>
10:10~11:40	<p>第1分科会</p> <p>内容『ケース記録の書き方、活かし方』</p> <p>講師：中村 卓治 氏（広島文教女子大学 教授）</p> <p>第2分科会</p> <p>内容『利用者の高齢化に向けて福祉サービスを考える』</p> <p>講師：蛭江 紀雄 氏（社会福祉法人廿日市市社会福祉協議会 会長・ NPOふくし文化塾はつかいち 副理事長・ 広島文教女子大学非常勤講師）</p> <p>第3分科会</p> <p>内容『高次脳機能障害者支援の視点』</p> <p>講師：濱田 小夜子 氏（特定非営利活動法人高次脳機能障害 サポートネットひろしま 理事長）</p>
11:50~12:00	閉会式

【講師のご紹介】

○14日講師：高木雅之氏

1981年、福井県生まれ。作業療法士。2004年、広島県立保健福祉大学作業療法学科卒業。同年より、社会福祉法人聖恵会身体障害者療護施設聖恵に勤務。2007年、県立広島大学大学院総合学術研究科修士課程修了（保健福祉学）。同年、県立広島大学作業療法学科助教。2014年より現職（県立広島大学作業療法学科講師）。現在、一人ひとりにとって大切な「活動」を中心としたヘルスプロモーションや介護予防、生涯活躍のまちづくりを推進されています。

○15日講師：大滝さやか氏

広島県生まれ。生まれつき体が弱く、消極的な自分を克服するため、大学時代からキャンペーンガールやモデル、テレビ出演や司会業を始められました。出産後に体調を崩され、様々な健康法の中からヨガに出会い、病気を克服、「皆さんにも体調改善し、充実した毎日を送ってほしい」との思いで、インストラクターの資格を取得されました。「お客様を輝かせること」を使命とし、現役司会業で週200人を指導、美容と健康アドバイザーとしてご活躍されています。

【分科会のご紹介】

○第1分科会『ケース記録の書き方、活かし方』

日々利用者支援をしていく中で、利用者の状況や変化について記録を残すという事は重要な業務の一つです。

記録の書き方や、表現方法、記録する際のポイントを学んだ後、視点のあて方や、「誰のため」「何のため」の記録なのか、その記録をどのように活用すれば良いかなどについて演習を通して明確にします。

今さら聞けない素朴な疑問を解消し、明日からの業務に活かせる分科会にしていきます。

○第2分科会『利用者の高齢化に向けて福祉サービスを考える』

廿日市市を拠点に「ふくし文化塾はつかいち」等で活動されている蛭江先生の体験を通して、これから必要とされる福祉サービスの在り方や今後の方向性について学びます。現代マニュアル化社会の中で働く福祉サービス職員の喜びややりがいを感じて働くには、仕事にどのように向き合えばよいか、福祉の仕事についてのご助言をいただきます。

○第3分科会『高次脳機能障害のある人への支援の視点』

濱田理事長の娘様が交通事故により高次脳機能障害を負われた当時、情報も、支援も得られない状況でした。必死の思いで全国の同じような仲間を見つけ、国に働きかけ、現在の高次脳機能障害の支援の礎を築かれました。

現在は、高次脳機能障害に特化した障害福祉サービス「クラブハウス・シェイキングハンズ」を運営、「生かされた命を生きがいのある人生に…」をモットーに高次脳機能障害者の新しい人生を見つけるお手伝いをされています。

経験と知識を生かしたサポートと、ネットワークを生かした日々の実践から、我々が気付きにくい高次脳機能障害者支援の視点についてのお話を伺います。